

令和2年度

経営発達支援事業計画  
実績報告書

京田辺市商工会

## 令和2年度経営発達支援計画実績報告

### ◆事業評価について

A：目標を達成することができた（100%）

B：目標を概ね達成することができた（80～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

### I.経営発達支援事業の内容

#### 1. 地域内経済動向調査

新型コロナウイルス感染症拡大による地域内商工業者が影響をどれだけ受けているという一般的な調査ではなく、影響を受けている事業者の支援ニーズや経営課題等を聞き取り、金融や国・京都府・京田辺市の施策の活用支援に直ぐに移行していくことを目的に調査を実施。

・全会員事業所を対象に経営支援員が各事業所を訪問しヒアリング調査を実施。

1038 会員事業所のうち 804 事業所より回答を報告書にまとめ、全会員に情報提供を行った。（別紙のとおり）

・京都府商工会連合会の委託を受け「中小企業景況調査」を4回実施し事業所に情報提供を行った。

<結果>

本調査を通じて、地域内事業者に新型コロナウイルス感染症による影響を備に見ることができ、特に売上（受注）減少とする回答した事業者が8割弱あり、コロナ禍の中で売上回復の道筋が未だ立っていない事業所が多かった。こうした状況を踏まえ、売上回復や直面する経営課題のなかから本会としてすぐに対応できる課題について、現状の分析から、具体的な事業計画の策定と実施支援に繋げた。

支援内容	令和元年度			令和2年度		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価
アンケート調査	4回	8回	A	4回	5回	A
調査対象・項目の見直し	1回	1回	A	1回	1回	A
調査結果分析会議	4回	4回	A	4回	4回	A
商工会 HP への掲載	4回	0回	—	4回	1回	D

事業評価委員会 事業評価：B

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を概ね達成することができた。

## 2. 経営状況分析事業

コロナ禍の影響で経営に悩んでいる方への個別相談。経営計画を事業者自らが作成できるよう支援。また経営分析を促進させるために専門家にサポートしていただき個別相談会を開催。

- ・7/29・9/7 経営個別相談会の開催（対面・オンライン併用）27名参加
- ・11/6・11/10・11/24・11/25 経営計画作成相談会の開催（対面）13名参加

<結果>

経営計画作成相談会に参加した13名全員が次の事業計画の策定に繋げることができた。

支援内容	令和元年度			令和2年度		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価
窓口・巡回による支援	15件	26件	A	20件	76件	A
相談会・セミナー	15件	31件	A	15件	39件	A
補助金・融資	15件	34件	A	15件	74件	A
創業・第二創業	15件	14件	B	10件	15件	A
合計	55件	105件		60件	204件	

事業評価委員会 事業評価：A

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を達成することができた。

## 3. 事業計画策定支援事業

前述経営分析相談会に出席した事業者に対する事業計画策定支援を伴走して行った。また経営支援員が巡回によるヒアリングを基に経営課題をあぶり出し、支援対象とする4事業者を抽出。抽出した支援対象事業所4社に対して伴走型事業の専門家派遣を実施した。

<結果>

経営計画作成相談会に参加した13名全員が今後目指すべき事業計画を策定することができた。

A社（茶販売）事業計画を策定しネットショップサービス開始に向けて取り組んでいる

B社（製造業）事業計画を策定し業務の効率化や人員配置を改め業務改善に繋がった。

C社（自動車整備）設備導入を含めた事業計画を策定し利益アップに繋がった。

D社（医療）創業計画を策定したことにより開業準備が促進している。

オンライン展示会に出展するために必要な事前準備や当日の対応など学びリアル展示会とオンライン展示会の違いについて理解を深め、新たな様式による出展にいち早く対応し、小規模事業者の販路拡大を支援するため実施した。

- ・10/8 オンライン展示会対策セミナー 13名参加
- ・10/19・20 オンライン展示会個別相談会 4名参加

<結果>

メッセナゴヤ 2020 オンライン展示会に 2 社が出展参加。初めてのチャレンジで不安だったが、事前セミナーで指導を受けていたのでスムーズに対応でき、コロナ禍の中での今後  
も増えるオンライン出展に自信をつかめた。

A 社は商談成立 2 件。B 社は見積依頼 3 件あり商談は継続中。

支援内容	令和元年度			令和 2 年度		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価
窓口・巡回	7 件	20 件	A	10 件	27 件	A
相談会・セミナー	7 件	31 件	A	8 件	21 件	A
補助金・融資	6 件	20 件	A	7 件	27 件	A
創業・第二創業	5 件	14 件	A	5 件	15 件	A
合 計	25 件	95 件		30 件	90 件	

事業評価委員会 事業評価：A

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を達成することができた。

#### 4. 事業計画策定後の実施支援事業

事業計画策定先への四半期に 1 回以上、巡回によるヒアリングを実施し、その進捗・成果  
を事業者と共有、事業計画遂行のモチベーションを維持し、更なる発展のための計画提案  
に繋げた。

・事業計画策定事業者 2 社に対して策定した事業計画を進めるために伴走型事業の専門  
家派遣により、より事業の実効性を高めるため進捗管理・アドバイスを実施。

<結果>

B 社（自動車整備）は業務改善の成果として経費を 5 %削減できた。

C 社（製造業）はすぐにできる取り組みを実施し、月別の売上が 10 %増加した。

・事業計画の策定支援を行った持続化補助金採択先 27 社に対して伴走支援の実施

<結果>

コロナ禍の中で経営の維持とともに補助事業に取り組み販路拡大・新規顧客獲得、  
売上増加に繋がった。

支援内容	令和元年度			令和 2 年度		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価
定期巡回	100 回	192 回	A	120 回	215 回	A
検証会議（情報共有）	4 回	4 回	A	4 回	12 回	A

事業評価委員会 事業評価：A

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を達成することができた。

## 5.需要動向調査に関すること

### ・商業支援

・販売促進に役立てるために一休さんカードの顧客データの活用を予定していたが、データの整理ができておらず、実施できなかった。

### ・工業支援

・メッセナゴヤ 2020 にて需要動向調査を予定していたが、展示会がオンラインでの開催となった為、調査が実施できなかった。

事業評価委員会 事業評価：C

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を半分程度しか達成することができなかった

## 6.新たな需要の開拓に寄与する事業

・メッセナゴヤ 2020 オンライン展示会 R2 年 11 月 16 日～12 月 11 日に 2 社が出展  
<結果>

A 社は商談成立 2 件。B 社は見積依頼 3 件あり商談は継続中。

「まちゼミ」を 1 月～2 月頃に開催予定していたが、緊急事態宣言による感染拡大を懸念し今年度は実施を見送った。

例年は対面式の「業コン」を開催し気付きとマッチングの場としてきた、今回はコロナ禍の中でオンラインによる交流会を実施。

・1/29 やましろオンライン交流会 13 名参加（京田辺市 8 名）

<結果>

初めてのオンラインでの開催だったが、積極的な意見交換が行われた。また上海に赴任している方の参加もありオンラインならではの事業となった。終了後、参加者同士個別に連絡を取り合い商談が成立した。

支援内容	令和元年度			令和2年度		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価
まちゼミ	1 回	1 回	A	1 回	開催中止	—
業コン	2 回	2 回	A	2 回	1 回	B

事業評価委員会 事業評価：B

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を概ね達成することができた。

## II 地域経済活性化事業

シゴトニアは毎年商工会等で共同開催する産業祭でものづくり企業の技術等を紹介する目的で開催していたが、コロナ禍の中で止むなく中止した。

市との連携事業で人材育成支援事業に取り組む。3年目～10年目の中堅社員を対象にオンラインで研修を実施。AmazonのリーダーシップOLP（社員の行動指針）、カイゼン活動を学び、グループディスカッションにおいて参加者同士で意見交換を行った。

- ・1/27 Amazonから学ぶカイゼン・リーダーシップ研修 10名

<結果>

受講者7名が「満足した」と回答しており、「学んだ内容を自社で活用したい。」「お客様の為に何が出来るのか考える良い機会となった。」など意見があり、参加者の資質向上に繋がった。

京田辺売込み隊事業にて展示会出展やセミナー開催について外部機関である中小機構、関西文化学術研究都市推進機構、同志社大学D—eggと連携会議を実施。

- ・5/20、3/4 連携会議を開催し情報交換を行った。

支援内容	令和元年度			令和2年度		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価
シゴトニア出展	3社	3社	A	3社	開催中止	—
事業所見学ツアー	4社	11社	A	4社	11社	A
従業員育成セミナー	1回	3回	A	1回	1回	A
外部機関との情報交換	2回	2回	A	2回	2回	A

事業評価委員会 事業評価：A

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を達成することができた。

## III 支援力向上事業

経営支援員全員がより高度で専門的な個社支援ができるように経営支援事例や支援手法の研究、策定済みの事業計画の実施状況に関する勉強会・意見交換を実施。

- ・11/9・12/2・2/3 定例勉強会3回開催

市内税理士法人を講師に招き、コロナ禍での社長の取組や利益を出している企業事例など学び事業所の支援強化のために勉強会を開催。事例研究や意見公開を実施した。

- ・11/25・12/16 クラウド型支援ツール「Bizミル」のWEB研修2回開催

「Bizミル」を経営支援するうえでトータルシステムとするために、研修で学んだことを積極的に事業者支援の場で活用。

- ・毎朝のミーティングの実施

経営支援員の企業支援の進捗状況や課題など情報共有、意見交換を実施した。

・支援ノウハウ情報交換

9/24「金融懇談会」を開催。日本政策金融公庫京都支店から「マル経融資と新型コロナウイルス感染症拡大に関する取り組みについて」説明をいただき「with コロナを踏まえた企業支援について」意見交換を行った。

11/24「金融研修会」を開催。商工会役職員と市内金融機関が参加しコロナ禍での個社支援について意見交換を行った。

支援内容	令和元年度			令和2年度		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価
支援ノウハウ情報交換	2回	2回	A	2回	2回	A
支援員勉強会	6回	6回	A	6回	5回	B
支援員会議	24回	24回	A	24回	52回	A

事業評価委員会 事業評価：A

事業評価委員の意見：特に異議はなく、目標を達成することができた。

【全体を通して事業評価委員の意見】

・委員 A：コロナ禍により京田辺市商工会のウリである「まちゼミ」やシゴトニアへの出展ができなかったのは残念でありましたが、地域内経済動向調査や中小企業景況調査、事業計画策定支援、事業計画策定後の実施支援、支援力向上への取り組みなど経営発達支援計画事業の根幹の部分はしっかりと達成できている点に商工会職員の皆さんの熱意を感じました。ぜひ HP への掲載や SNS の発信についてはコロナ禍と関係なく展開できると思いますので、そちらの注力を期待しています。

・委員 B：新型コロナ禍において計画の実践が困難な中、目標達成に向けて努力されていることがよくわかりました。事業実施後の事業者サポート・フォローもしっかりされており評価できます。反省点は次年度に活かしていただき、工夫した取り組みの継続を期待します。

・委員 C：新型コロナウイルスという想定外の大きな災害の中、柔軟に事業の見直しを行い対応いただいた事を高く評価します。今後は with コロナ、アフターコロナの中での会員企業の業績回復に向けての取り組みに期待します。

・委員 D：コロナの影響で活動しにくい点があった思われますが、工夫して事業を推進された事は大いに評価できると思います。

・委員 E：コロナ禍の影響がある中、事業所が直面する課題のなかから商工会として現状の分析から具体的な事業（伴走支援等）を実施されていた。